

## 令和5年度 都立深沢高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと・話すこと・聞くこと」の指導の充実</li> <li>・学習習慣の定着と語彙力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初の教科会において年間指導計画に基づいた指導内容について共有、確認する。</li> <li>・各科目での小テストの実施</li> <li>・週末課題</li> <li>・漢字能力検定試験・日本語検定の校内実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的なグループワーク・発表活動の実施</li> <li>・短歌・俳句コンクールへの参加</li> </ul>
数学	基礎的な計算能力、定着  関数や図形の内容等、言葉の意味の理解、表現する力	週末課題等で基礎的な計算能力を定着。  生徒個々の学力に応じ少人数、習熟度別に授業を展開することで、基礎基本を定着させる。	他教科の教育課程も参考にする。
地歴・公民科	基礎基本を習得させ、読み取りの力・自己の考えを書いて表現する力・発表する力を向上させる。	現代社会における急速な変化や新しい社会事象に対し、自らの学習体験の蓄積から汎用的な能力を引き出せるようにする教育を実現するため、生徒が選んだテーマを探究し、グループでの発表を実施。	様々な資料をよみ解き、意見交換の場を設け、言語活動の充実を図る。
理科	授業の多様な場面で発言機会を多く設け、言語力・発言力を育成する	定例外の教科会も開催し、課題を共有し、組織的な対応をとる	他の教科の教育課程等の特色も参考にする
外国語科	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 習熟度別、少人数授業において基礎基本を身につけさせる。</li> <li>2. 自ら学ぶ力を育成する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒の実情に即した習熟度・少人数授業を行う。</li> <li>2. 週末課題等により家庭学習を定着させる。</li> </ol>	JET とのコミュニケーションの充実。